

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

## ②施設・事業所情報

名称：わおわおセンター北保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：江口 亜季	定員（利用人数）：60（70）名
所在地：〒224-0003 横浜市都筑区中川中央1-8-13	
TEL：045-507-8041	ホームページ： <a href="http://www.waowao.or.jp">http://www.waowao.or.jp</a>
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2013年04月01日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 わおわお福祉会	
職員数	常勤職員：16名 非常勤職員：16名
専門職員	（専門職の名称）：名
	保育士：20名 看護師：1名
	栄養士：2名 子育て支援員：2名
施設・設備 の概要	（居室数） 居室：0歳児室 設備：厨房
	居室：1歳児室 設備：ホール（一時保育）
	居室：2歳児室 設備：調乳室
	居室：3歳児室 設備：乳児用トイレ（沐浴室）
	居室：4歳児室 設備：幼児用トイレ
	居室：5歳児室 設備：事務室
	設備：相談室
	設備：砂場
	設備：ポーチ
	設備：屋上園庭 設備：エレベーター

## ③理念・基本方針

## &lt;理念&gt;

「ほめて・みとめて・はげまして」

～やる気を育て、自分で考えて行動できる子どもを育てる～

## &lt;基本方針&gt;

- 1.保護者に寄り添い、安全安心な保育を実践します。
- 2.子どもを地域と支え合い、社会に貢献します。
- 3.職員がやりがいを感じ、充実感に満ち、情熱を持って働ける職場にします。
- 4.保護者、職員、地域に選ばれる園を目指します。

## &lt;保育目標&gt;

1. 豊かな人間的ふれあいを通じて“人と人との信頼”の価値と尊さを身につけます。

2. 子どもの社会性を培い、人間性を育むうえでの“正しい習慣”を身につけます。
3. 面白いね！ふしぎだね！すごいね！という体験を豊富に積み重ね“創造性の芽生えとやる気”を育てます。
4. “もじ・かず・ことばへの興味や関心”を育てます。
5. 人と人とのつながりを大切に“元気で明るく、笑顔であいさつできる子ども”を育てます。
6. やさしい気持ちを養い、忍耐力・正義感・自制心をもつ、豊かな心を育てます。
7. 命の尊さを知らせ、慈しむ心と感謝の心を育てます。

#### ④施設・事業所の特徴的な取組

- ＜わおわおセンター北保育園の特徴的な取組＞
1. 日々の保育の実践のまとめや記録から保育者自身の自己評価が重要であり、特に保育の振り返り（PDCA）が機能できるように努めている。
  2. 理念や園ビジョンを明確にし、子ども理解を基に園外の研修などで学んだことをアウトプットすることで、知識や技術の修得につなげ、キャリアを重ねていけるようにしている。
  3. 多職種と協働を行うため、それぞれの役割を理解し、お互いが専門性を活かし情報を共有し合い学び合うことで向上につなげている。
  4. 各種会議・研修（リーダー会議、OJT会議、クラス会議、自己研鑽面談、園内研修、キャリアパス研修、発達研修等）の実施

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2025年05月27日（契約日） ～ 2025年10月16日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（2020年度）

#### ⑥総評

- 【わおわおセンター北保育園の概要】
- わおわおセンター北保育園（以下、当園という。）は、社会福祉法人わおわお福祉会（以下、法人という。）の運営です。法人は、運営方針に「選ばれる保育園」を掲げ、横浜市に6園、川崎市に1園、東京都大田区に1園の認可保育所を運営しています。また、学童保育「ワオキッズ」も川崎・横浜に15施設展開し、地域における社会的支援、サービスを提供し子どもたちの可能性を広げる支援に尽力しています。
  - 保育理念「ほめて・みとめて・はげまして」の下、やる気を育て、自分で考えて行動できる子どもを育てる保育を提唱し、子育て支援の観点から、法人系列各園で地域の「子育てステーション」を目指しています。
  - 当園は、横浜市営地下鉄「センター北駅」から徒歩3分程度であり、交通のアクセスが良く、大規模な商業施設やマンションが林立する活気ある場所に位置しています。近隣には大塚遺跡公園や歴史博物館、中川八幡山公園等が点在し、自然が残るエリアで子育て環境にも適しています。園舎は鉄筋コンクリート4階建て、法人のテーマカラーでもある原色系のビビットな色を基調とした外観・内装です。園内には砂場が設置され、ライミングウォールの壁面、4階には屋上園庭を備える等、楽しい空間が施されています。
  - 当園の定員は60名、0歳～5歳児までの保育を実施し、現在70名の園児が在園しています。園舎内は明るく広々として開放感があり、1階に事務室、多目的室（ホール）、厨

房、相談室、2階に0歳～2歳児の保育室、3階に3歳～5歳児クラスがあります。また、広い廊下の一角には図書コーナーがあり、子ども自身で本を選び、保育士・友だち・保護者等と一緒に楽しんでいます。全職員は、保育理念「ほめて・みとめて・はげまして」の下、一人ひとりの子どもに寄り添い、共感しながら、子どものやる気を育て、自己肯定感を育み、自分で考えて行動できるよう日々の保育に取り組んでいます。

#### ◇特長や今後期待される点

##### 1. 【整った保育環境】

当園の施設は、4階建てビル全体を保育園として使用することを前提に建てられ、オール電化、床暖房、バリアフリー、ダストシュータ等の設備、屋内砂場や屋上園庭が備えられています。保育室も年齢に応じて配置され、生活しやすい空間です。1階には広々としたホールがあり、クライミングウォールの壁面が魅力的です。天候に左右されずに子どもたちは運動遊びやリトミック等を十分に楽しめます。利用者（保護者）アンケートにも「施設が立派」、「室内でも砂遊びや運動ができる」等の声が寄せられています。調査日には、子どもたちが屋上園庭に設置された大きなプールで水遊びを十分に楽しんでいました。また、屋上園庭の堀には、絵具でお絵かきを楽しめるコーナーも設置され、活動後には温水シャワーで洗い流せるようになっています。整った保育環境の中で、日々、子どもたちは保育士と楽しく過ごしています。

##### 2. 【子どもの主体性を育む保育】

保育理念及び園ビジョン「自分らしさを大切にしながら笑心を育む保育園」の下、常に子どもの姿から、子どもの興味・関心を引き出し「やってみたい！」を認め、「おもしろいね!」、「すごいね!」等と声をかけながら、「できた!」を一緒に喜び保育を実践しています。子どもの成功体験の積み重ねは、自己肯定感を育む上で大切な要素と言えます。職員は日々、自己の保育を「保育日誌」で振り返り、今日の子どもの姿から翌日の保育を計画・実行しています。当園の保育日誌は、PDCAサイクルが一覧で見える独自の形式で保育内容がよく分かります。毎日、各クラスに「保育日誌」を掲示し、保護者に保育内容の見える化を図っています。また、園内研修で「主体的な保育とは？」について、KJ法（付箋等を使いグループの意見を集約・発展させる手法の1つ）にて職員間で学び合い、保育の質の向上につなげています。

##### 3. 【多彩な保育活動】

当園の特徴とする保育活動に「英語あそび」、「食育」、「リズムあそび」を掲げています。その他にも法人推奨の知育（ガウディア保育理論から7つのカテゴリー『言語・流暢・数・空間・知覚・推理・連想記憶』を教材プリントで学習するスタイル）を3歳児クラスから提供し「自分で学習する姿勢」が習得できるようにしています。英語あそびは、3歳児～5歳児に週2回、ネイティブスピーカー講師と一緒に遊びを通して、自然と英語のリズムや発音が身につくよう取り組んでいます。リズム遊びは、0歳児～5歳児クラスまで毎日、朝夕2回行っています。その様子を調査日に見学しました。子どもたちは音楽に合わせて歩く（早い・ゆっくり）、駆け足、縄跳び、動物の表現等々を生き生きと行い、とても楽しそうでした。中でも年長児の縄跳びは顕著で、日々の積み重ねの成果が感じられました。食育では「食育年間計画」に沿って、野菜の栽培や調理活動を年齢に合わせて取組み、「食育活動の壁新聞」にて年齢別ドキュメンテーションで紹介しています。給食業務は業者委託ですが、業者と連携を密に取り合い各年齢に応じた食育活動がスムーズに行われています。毎月の献立には郷土料理が盛り込まれ、世界の料理（8月はスペインのガスパチョ）も提供（レシピも給食日より紹介）され、子どもたちに大好評でした。今回の利用者（保護者）アンケートの設問「給食の献立内容について」及び「お

子さんは保育園で楽しく過ごしていますか」に対して、双方共に、満足回答率87%であり、当園の保育への満足の高さが窺えます。

#### 4. 【人材育成・地域支援への取組】

人材育成については法人の育成計画に基づき、新入職員には導入研修、新任研修、OJTやチューター制度があり、職員の習熟度に応じて、階層別研修、年齢別研修、保護者支援研修、キャリアパス研修等、育成に努めています。当園でも「わおわおセンター北保育園 保育者像」として①笑顔・笑心・笑声で自分らしく輝く保育士、②「ありがとう」の気持ちを伝え合い思いやり溢れる保育士 を掲げて取組んでいます。園長は、職員とのコミュニケーションを図り、風通しの良い職場にするため、職員と1on1面談（常勤職員は月1回、非常勤職員は2か月に1回）を通して、一人ひとりの特性・得意分野を把握し、助言を行い育成に努めています。また、職員の誕生日にはプレゼントとして、全員からのメッセージ（長所を記入）がハート型ボードに張られ、モチベーションを高める工夫をしています。写真には園長と職員の笑顔が溢れています。職員ヒアリングでも「園長先生に相談しやすい」、「チームワークが良く働きやすい」等の話がありました。地域支援については、これまでの取組（①施設・屋上園庭開放、②育児相談、③親子で楽しむ「プレびよルーム」、④交流保育）から、リピーターが増えている状況のため、保護者から「ここに来れば相談できる」と気軽に立ち寄れる場所となるよう地域の「子育てステーション」を目指していく計画であり、今後の取組みに期待されます。

#### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名 わおわおセンター北保育園

##### 《第三者評価を受審した感想・自己評価での取組の感想》

私が園長になって、初めての第三者評価受審となり始まるまでは緊張しておりましたが、調査員さんの温かいお言葉に励まされ、安心して評価を受けることが出来ました。誠にありがとうございました。今回のアンケートを経て、不十分な点を気づくことが出来ました。この結果を真摯に受け止め、現状を見直し、改善に繋げていきたいと思っております。

保育理念や方針、園ビジョン等は理解してくださっている方が多く、嬉しい気持ちで一杯になりました。また、保護者の皆様の満足していただけている部分もグラフで見えたところが非常に励みとなりました。今後も保育士としてどう努力し、子どもたちが主体となって笑心で過ごせるようにするにはどうしたら良いか、保護者の立場になった子育て支援とはどういうものなのかを職員一同、さらに考え深めていきたいと思っております。今後の意欲に繋がる結果をいただき、より質を上げていけるよう精進してまいりますという思いでございます。

第三者評価事業に参加するにあたり、沢山の学びをいただき、感謝いたしております。本当にありがとうございました。

##### 《評価後取組んだこととして》

1. カリキュラムフォーマットに長時間保育の欄と10の姿を追記した。
2. 子ども主体の保育の実現に向けて、環境構成を見直し改善した。
3. 気候も涼しくなってきた為、戸外の活動も増やしている。

#### ⑧第三者評価結果

別紙2のとおり